

鶴寿の里ナーシングホーム 通所リハビリ便り

第22号 平成28年11月

編集・発行 社会福祉法人 久喜同仁会
指定通所リハビリテーション事業所
鶴寿の里ナーシングホーム
TEL 0480(24)0066

最後のご利用日には、「卒業式」を行い、宮地施設長から卒業証書をお渡ししました。猪又様からは「利用してちょうど一年になります、お陰様でこうして卒業することになりました。皆様もどうぞお元気にお過ごしください。」とご挨拶をいただきました。現在も運動習慣を継続し、ご自宅でも役割を持って過ごされているようです。また、先日は自転車で施設に遊びに来て下さることもありました。

当事業所では、今後も皆さんの「できること」が少しでも増え、日常生活をよりよく過ごすためのお手伝いをしてまいります。

(記事作成に当たっては、猪又様からの承諾をいただいています。)



九月末、当介護予防通所リハビリテーションから卒業生を輩出しました！



猪又雄吾様は、平成二十七年五月にご自宅での作業中に高所から転落し、頭にお怪我をされました。

病院での入院加療後、ご自宅に帰りましたが、諸々の日常生活動作に支障が出たため、担当ケアマネジャー様の勧めで、昨年九月から当事業所の利用を開始しました。他の利用者の皆さんと同様にリハビリに熱心に取り組み、またスタッフやお仲間と楽しく過ごされ、十月に介護保険「非該当」と認定されました。



共に過ごした仲間との記念写真



「卒業証書」授与式！

鶴寿福祉バザー

十一月十三日(日)、毎年恒例となりました「鶴寿福祉バザー」を開催します。先月には皆様に寄付品の提供依頼を致しましたが、物品販売以外にも模擬店などの出店を予定しています。お時間の都合がございましたら、是非お出かけください。お待ちしております！

インフルエンザ予防接種

当施設では感染症予防の取り組みとして、例年ご利用の皆様へ「インフルエンザ予防接種」をお願いしています。重症化予防のためにも協力お願いします。また、接種した後は、「予防接種済証」の提出をしてください。写しをとって速やかに返却します。

『埼玉県実地指導』がありました

十月十二日(水)、埼玉県福祉監査課の方が来所し、「実地指導」が行われました。実地指導は、施設運営が適切に行われているかを確認し、必要があれば施設へ指導するとともに、良い取り組みが行われている場合は、他の施設へ情報提供を行い、県内の介護保険サービスの質の向上を図るために行われるものです。財務・処遇とも概ね良好に評価して頂き、「入浴機器の取扱い説明書」の設置場所、通所リハビリ利用者様の薬の保管場所についての指摘がありました。

今後も、ご利用者・ご家族の皆様が安心して過ごせるよう努力してまいります。

編集後記

今年もノーベル賞の発表があり、医学・生理学賞は、東京工業大学の大隅良典さんが受賞しました。個人的には、高校生の頃からのファンで、長編・短編とも不思議で物悲しい物語を描く村上春樹さんに文学賞を受賞してほしかったなあ…と思う今日この頃です。【bigbear】